

## 足の短いものの反論

この頃、子どもたちの「担任批判」は「足が短い！」なんです。担任の世代では十分「足が長く」「背も高い」はずなのですが、今の子どもたちのスタイルの良さ、かっこよさというのは比べものになりません。スラッと足が長く、顔も小さいのです。特に女子は背も高く、体育の時の座り方、そう、三角座りというのをみると自分の膝の上に顎を乗せているではありませんか。「そんな無理な格好でしんどくないの？」以前こんな質問をしたことがあったのですが、

「なんで？ こんならくちんなすわりかたないよ。もしかして、センス、でけへんのちゃう。」といわれた経験があるのです。苦い思い出です。確かに担任にとってそんなことは汗をかくことであり、ちっとも楽でなんかないのです。

既制服の規格も身長の変化に伴い大きくなってきています。ジーンズの股下も以前よりも3cmも長くしているそうです。嫁さんにも「ジーンズって裾を切るものなの？」といわれる始末です。足が長くなったのは事実です。確かに担任は足が短い方なのかもしれません。

以前こんな実験についての話を聞いたことがあります。

金魚を大きく育てるためにはどうすればよいか、知っていますか？

実は **個別に1匹ずつ飼う。**  
**1日に5回、餌をやる。**  
**騒音の中で育てる。**

のだそうです。

これって今の子どもたちを取り巻く環境ににいていませんか。

個室を与えられ、塾通いなどで一日三食以上、テレビや音楽がいつもかかっている…。この条件を見事に満たしているのです。

「足が長い」というのは「骨がのびている。」「成長している。」ということです。骨の成長というのはふつう筋肉の力によって押さえられその結果骨が太くなっていき、充実していきます。ところがこの筋肉が十分に発達しないと骨の伸びを押さえられませんかので骨は細く、長くなっていきます。中がしっかりと詰まるまでに成長するためもろくなっていくのです。太く、短い骨は丈夫なんです。

また、スタイルの良さも目に付きますね。今の若い女優さんは9頭身だそうです。顔が小さいのですね。でも顔が小さいというのは顎が未発達ということなんです。柔らかい食事が多く、噛むということが少なくなってきたために顎が退化し、その結果、顔が小さく見えるのです。「イケメン」の兄ちゃんたちの顎は退化してきているのです。

筋肉の衰えも目に付きます。腕力や脚力ではなく、腹筋や背筋に現れています。下腹をつきだしてたっている姿や腰痛も筋力の低下が原因といわれています。

見た目のかっこよさ、足の長さや顔の小ささには結構恐ろしいことが隠されているようです。

えっ？ 誰ですか、単なる担任のひがみだといっているのは。

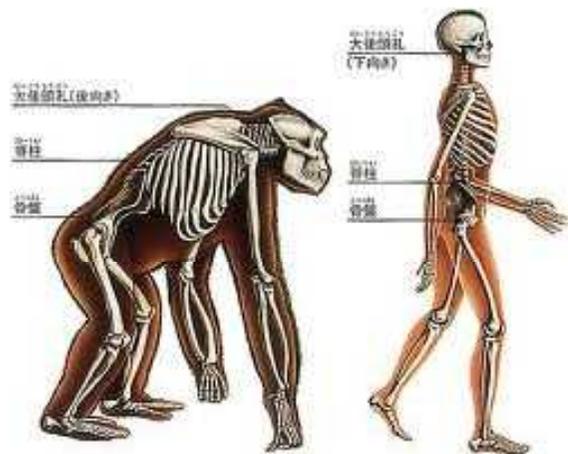
# ヒトと動物の大きな違いは...

ヒトと動物の大きな違いは何なのでしょう？これはなんとと言っても「直立二足歩行」なのです。

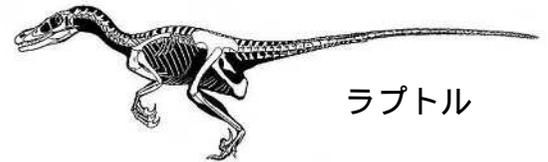
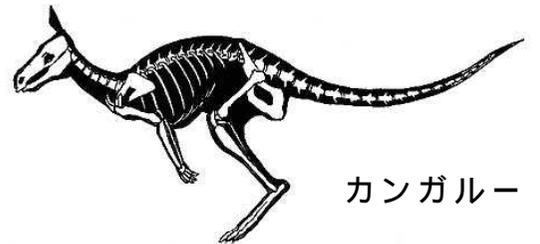
ヒトは進化の途中で動物の中では群をぬく大きな脳を手に入れました。他の動物と比べてみます。脳自体の重さではアフリカ象の方が重いのですが、その体重における脳の割合を見てみると明らかです。(表1 参考)

表1	体重	脳の重量	体重に対する割合
ヒト(男性)	65kg	1300g	約 2.000%
ゴリラ	170kg	570g	約 0.335%
ライオン	200kg	260g	約 0.130%
アフリカ象	6000kg	5700g	約 0.095%
ダチョウ	100kg	90g	約 0.090%
海ガメ	115kg	9g	約 0.008%
ワニ	200kg	14g	約 0.007%
ティラノサウルス	6000kg	200g	約 0.003%
トリケラトプス	6000kg	50g	約 0.001%

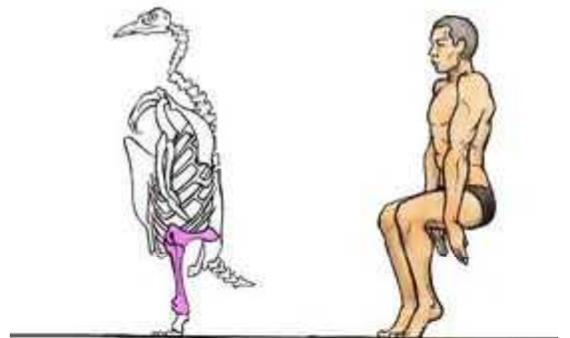
この重い脳を支えるには直立しての二足歩行でなければならないのです。重い脳を四つん這いのように地面に平行な背骨では支え切れないのです。



でもよく考えて見ると恐竜やカンガルーも2足歩行しています。これらは頭と尾の真ん中に足があり、背骨も地面に平行になっています。ヒトの背骨は地面に垂直なので直立2足歩行とは違いますね。



もう一つ2足歩行している動物に「ペンギン」がいます。これは背骨も垂直です。ペンギンは足が短く見えるのですが、実はヒトの大腿骨に当たる部分の骨が体の中にあり、それが曲がっています。ヒトでたとえると「空気イス」の状態歩いているのですね。



ヒトが持っているこの「直立2足歩行」は他の動物には見ることのできない大きな特徴なのです。